

## 福島東和町農業協同組合（JA福島東和町）



代表理事組合長	佐藤彦憲	役員数	17名
所在地	〒964-02 安達郡東和町 針道字町50	理事	14名（うち常勤 1名）
	☎0243-46-2121	監事	3名
設立年月日	昭和40年3月1日	職員数	48名（男29名 女19名）
		臨時	4名

### I 地区の概況

昭和30年1月1日、木幡村、太田村、戸沢村、針道村の4か村が合併して東和村となり、35年4月1日町制を施行した。安達郡の東端、阿武隈高地の西斜面に位置する農山村である。

地形は丘陵が起伏し標高200m～600mである。西側は安達町との境界を阿武隈川が南北に貫流する。耕地は谷間に沿って水田が帯状にのび、畑は傾斜面に小団地を形成し散在している。

土質は花こう岩を母岩とする壤土及び砂壤土が大部分で、水田は湛水田が多く、畑は傾斜地にあるため浸食が著しい。乾燥すれば干害を受

け易く、過湿になると農作業は困難である。

気象は内陸山間型で、気温格差が大きく晩霜、早冷等の発生し易い条件にある。

町の総土地面積は72.22km<sup>2</sup>で林野率50.6%、耕地面積は2047haで耕地率は34.8%と低い。

平成6年の総世帯数は2017戸、昭和35年から193戸（8.7%）の減少、人口は9187人で4400人（32.3%）が減少した。世帯数に比較し人口の減少が著しく40年以降の高度経済成長により若年層の流出が続き過疎化が進み、とりわけ女子の流出により農業後継者の嫁不足が続いている。

## Ⅱ 50年のあゆみ

### 1 地区農業の変遷

当地区の耕地は山間部で傾斜が多いことから、30年代は専ら畑作を中心とした経営が行われてきた。

圃場は狭少、団地化に乏しいという立地条件から、養蚕、畜産、葉たばこ、米を主要な作物とし、経営形態はまゆ＋米、たばこ＋米、酪農＋米などの経営が行われ、農家の減少、兼業農家の増加する中で養蚕、畜産、たばこ、果樹などに、農業構造改善、農業生産基盤の整備に絡めた規模拡大が目立ち、自立経営志向農家の増加が40年代の特徴となり、「動力耕うん機」を

はじめとする農業機械の普及も進んだ。しかし水稲にあつては、44年の738haの作付をピークとして、その後は米の生産調整から減少が続いている。55年の作付品種別は、農林21号297ha、トヨニシキ130ha、コシヒカリ41haの順となっている。

一方養蚕では、使用桑園面積、掃立卵量とも48年をピークに減少傾向にあり、養蚕農家戸数も減少している。しかし、一戸あたりの掃立卵量は17.4箱と2倍に伸び、これは小規模飼養者の飼養中止から規模拡大が進み、基幹作物として位置づけられていた。

50年代には、養蚕、米、葉たばこを中心とし

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年次		25	35	40	50	60	2
項 目	総 農 家 戸 数 (戸)	1,917	1,757	1,733	1,647	1,521	1,446
	うち 専 業 (戸)	1,397	980	445	130	104	74
	I 種兼業 (戸)	323	585	984	921	415	228
	II 種兼業 (戸)	197	192	304	596	1,002	1,144
	経営耕地面積 (ha)	2,080	1,966	1,920	1,891	1,807	1,672
うち	田 (ha)	692	653	652	631	611	600
	畑 (ha)	680	733	690	536	452	425
	樹 園 地 (ha)	708	581	577	724	744	648
	稲 (ha)	657	589	645	568	519	473
	麦 類 (ha)	516	461	475	94	7	4
収 穫 面 積	野 菜 類 (ha)	107	125	76	44	48	28
	果 実 類 (ha)	2	7	17	27	29	29
	飼 料 用 作 物 (ha)		115		217	223	114
	た ば こ (ha)	70	79	113	76	68	26
	飼 育 頭 数						
羽 数	乳 用 牛 (頭)	155	449	544	951	1,053	938
	肉 用 牛 (頭)	698	814	939	1,324	1,540	1,505
	豚 (頭)	67	104	143	195	1,009	1,177
	に わ と り (千羽)	4	88	12	16	6	
	ブロイラー (千羽)			11	6	68	50

(注) ブロイラー 50年以降は出荷羽数

た生産体系の複合経営が大半を占めていたが、農産物の輸入自由化等様々な農業情勢の変化により、近年では、畜産、米、野菜などの経営に移り変わりを見せている。

55年は、7月下旬からの低温、長雨、日照不足が続いて作況指数は30、10a当たり118kgの収量で県内最悪の被災地となり、収穫皆無で飯米にこと欠く農家も多数にのぼった。また12月には未曾有の大雪にも見舞われた。

更に平成5年も100年に一度といわれる大凶作となり水稻は大幅に減収、ミニマムアクセスの米部分開放受入れと合わせ、農家経済に大き

な影響をおよぼす年となった。

このような生産事情の中で注目されるのが、施設園芸導入によるつるむらさき、トマト、いんげん、産直有機野菜、花卉類の普及拡大、又環境緑花木の新規取組みなどいずれも少量生産ではあるがこれからの伸長が期待される。

## 2 経営の推移

### (1) 農業協同組合の設立から合併まで

農業会は、戦時期から戦後にかけて農村経済面の要としての役割を果たしてきたが、戦後農

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度			24	30	40 (合併年度)	50	60	5
項目								
正組合員戸数(戸)			1,450	1,424	1,787	1,597	1,532	1,507
准組合員戸数(戸)			19	42	41	46	94	136
資 産	余 裕 金		5,051	4,551	48,834	382,260	2,874,392	5,011,675
	貸 出 金		3,082	21,095	134,378	1,344,238	2,056,316	2,334,402
	その他流動資産		2,249	12,873	66,567	440,521	28,141	950,863
	固 定 資 産		2,561	3,152	17,099	168,452	268,212	276,568
	外 部 出 資		128	1,415	5,512	18,928	55,148	94,899
負 債 及 び 資 本	貯 金		12,692	26,317	177,437	1,495,745	4,149,326	7,084,654
	借 入 金		260	14,816	60,050	330,279	568,454	217,102
	そ の 他 負 債			1,995	27,493	404,503	562,941	881,613
	出 資 金		384	6,462	20,360	113,718	317,875	354,654
	積 立 金		105	86		4,100	57,000	114,500
剰 余 金			-66	-6,590	-12,950	6,054	13,539	15,884
主 な 事 業 実 績	販 売 取 扱 高		37,578	38,282	103,657	228,843	592,307	584,997
	うち 米 穀			30,100	84,769	163,562	312,066	104,742
	青 果 物			247	12,771	22,468	131,158	183,174
	うち野 菜				12,407	10,691	110,574	162,685
	畜 産 物				4,127	31,769	117,674	250,509
	特 産 物						31,436	46,572
	購 買 取 扱 高		12,056	27,017	121,357	545,793	718,007	842,769
	うち 生産資材			22,792	101,663	447,439	582,874	622,533
	生活資材			4,225	19,694	98,354	135,133	220,236
	長期共済保有高				820	9,646	62,201	99,081

(注) 合併年度は最新合併年度の始期 他は年度末 合併以前の年度は合併参加農協の合計

村改革の一環として、昭和22年11月農協法が公布され、翌23年に旧村単位の農協が設立された。戸沢村農業協同組合、針道村農業協同組合、太田村農業協同組合、木幡村農業協同組合である。

戦後の混乱も、農協設立頃から落ち着きを見せ始め、阿武隈高原地帯の地域に適合した農業の振興では、葉たばこ、酪農、養蚕を主な柱とし、綿羊なども含め生産向上がなされ、農家経営・農協経営に貢献した。しかし、旧村単位の小規模農協経営は信用度も低く経営は容易なものではなかった。特に米を除く主なる農畜産物は専門農協扱いであったことも一因していた。30年代となって、農協は生産増強、経営、生活

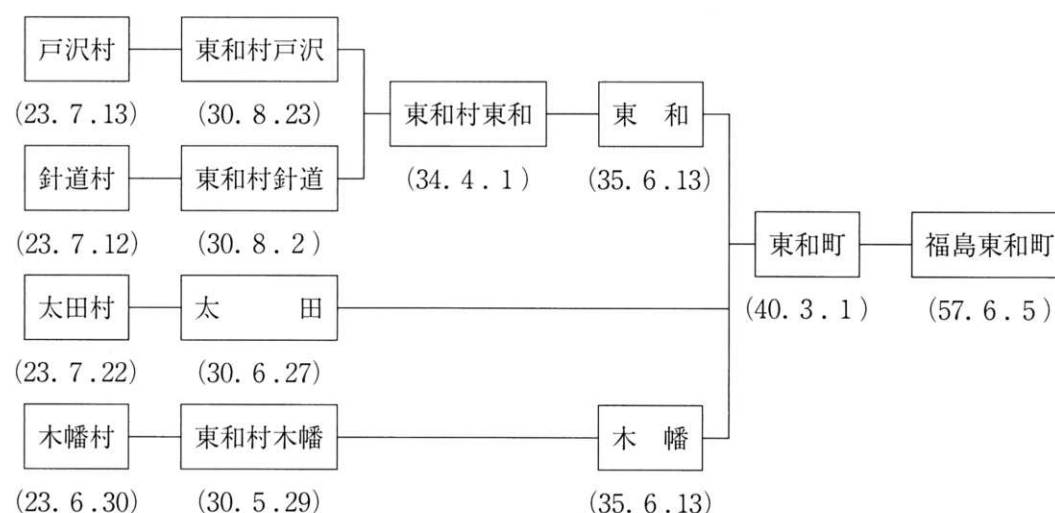
改善指導、農業技術改善、販売・購買事業の向上、信用事業拡充の一割天引貯金と目的貯金の奨励、生命共済事業創設などを積極的に取り組み、安定経営に向け努力したが、一部農協では収支の悪化も見られた。

## (2) 一町一農協の設立

34年、東部の戸沢村農協と針道村農協が合併して東和村東和農業協同組合が設立された。

さらに、39年6月に県の農協合併重点町の指定を受け東和町農協合併促進協議会が設立され、40年3月1日東和農協、太田農協、木幡農協が合併して東和町農業協同組合が設立され

図表3 合併等の経緯



図表4 合併参加農協の概要

合併年月日	組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
34. 4. 1 *	東和村針道	浅野 亀蔵	244	16	3
	東和村戸沢	紺野 濃	469	15	3
40. 3. 1	東和	小野崎寛蔵	717	25	11
	太田	菅野清一郎	570	13	11
	木幡	紺野 守嘉	577	10	9

(注) \*東和村針道農協は32事業年度要覧による  
東和村戸沢農協は29事業年度要覧による

て、一町一農協となった。

その後、全国銀行内国為替制度加盟にともない57年に、福島東和町農業協同組合に名称を変更して現在に至っている。

### (3) 合併後の事業の拡大展開

組合員の負託に応えるためには、合併による経済的基盤の確立が必要であるとの認識で、合併後に県農協更生特別措置要綱に基づく指定を受けて財務内容と自己資本の充実に努め、当時の1000万円余の繰り越し欠損金は合併5年目で解消し、現在1億1000万円を越す積立金を保有するまで伸展した。

特に合併前期は集出荷所、倉庫、水稻育苗センター、ガソリンスタンド及び事務所等施設設置に重点を置き、後期は事務の合理化・近代化に向け事業運営を行ってきた。

その間、水田利用再編対策やオイルショックによる景気低迷、豪雪や冷害等の中での事業運営は容易ならざる時期もあったが、52年度からの協同活動強化運動や58年度からの経営刷新強化運動、61年度からの農協総合力強化運動、平成4年度からのJA21戦略第1期3か年運動を通じて、積極的な事業活動を行った結果、組合員の理解と協力により、組合員の減少にも歯止めがかかった。

合併当時と平成6年2月末の実績を比較すると出資金では59年以降は増資運動は展開しなかったが、出資配当金の増資協力により3億5000万円となり20倍、固定資産は6億円で32倍、貯金残高は70億8000万円で47倍となった。貸付金は一時減少したが、生活金融としてのローンや当座貸越により伸長し23億3000万円で21倍とな

っている。

長期共済保有契約高は990億8000万円で164倍と驚異的な実績となり、生命と財産を守る大きな保障の一翼をになっている。短期共済の自賠償共済は緩やかな伸びであるが、自動車共済・傷害共済は大きな伸びが見られる。ちなみに近年10年間の長・短期共済の事故や入院、満期共済金の支払いは27億円以上となっている。

経済事業の購買品取扱高は56年度の8億3000万円をピークに一時減少したが、平成5年度末は8億4000万円となり7倍まで伸長した。販売高は54年をピークに冷害や水田転作での影響を受けながら、そさい振興、畜産振興を図り、昨年は大冷害のため4年度より5000万円減少したが、5億8000万円の販売高となり6倍の伸びとなっている。現在は花卉、緑花木など特産振興やうまい米づくり、菌床しいたけ栽培の積極的な取り組みを展開中である。

また、生活事業では全組合員対象の健康増進活動や食と農を守る運動、安全・安心・格安な食材宅配事業、高齢化社会の到来を見越した婦人部中心のホームヘルパー活動を展開している。

労務管理面では、組合員のニーズに合った営業の弾力化として集中配送センター、燃料センターの年中無休、自動貯金支払機の土曜・日曜営業を実施しながら、職員の4週6休制を導入して3年が経過し、現在は4週7休制で業務を行っている。

今後は挑戦と改革の3づくり推進として、地域に開かれた密着した農業づくり、地域づくり、JAづくりに取り組み、組合員の営農と生活を守り負託に応える所存である。

# Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
<b>23年</b>		<b>43年</b>	
6.30	木幡村農業協同組合発足	4.	配合飼料のバラ取開始（バラタンク54基設置）
7.12	針道村農業協同組合発足	8.	燃料センター（太田）落成オープン
7.13	戸沢村農業協同組合発足	<b>44年</b>	
7.22	太田村農業協同組合発足	6.20	本所建設用地購入
<b>30年</b>		<b>45年</b>	
1. 1	針道村、木幡村、太田村、戸沢村が合併して東和村となる。	2.28	繰越欠損金解消
5.29	東和村木幡農業協同組合と名称変更	5. 9	安達地方農協合併研究会設立
6.27	太田農業協同組合と名称変更	<b>46年</b>	
8. 2	東和村針道農業協同組合と名称変更	10.	電算システム一部導入
8.23	東和村戸沢農業協同組合と名称変更	<b>47年</b>	
<b>31年</b>		3.	木幡事業所ガソリンスタンド落成オープン
5.29	系統利用優良 経済連表彰（太田）	11.	戸沢事業所購買倉庫建設
<b>32年</b>		<b>48年</b>	
3.31	整備特別措置の指定（木幡）	4.11	戸沢事業所事務所新築落成、
<b>34年</b>			水稻育苗センター落成
4. 1	東和村戸沢農協と東和村針道農協が合併して東和村東和農業協同組合となる	6.27	しいたけ乾燥機購入
<b>35年</b>		9.28	安達地方農協合併予備契約調印式
4. 1	町制施行して東和町となる	11.	農協クローバーローン融資開始
6.13	木幡農業協同組合と名称変更	12.15	臨時総会（安達地方農協合併）
6.13	東和農業協同組合と名称変更	<b>49年</b>	
<b>36年</b>		7.24	しいたけ部会設立総会
5.30	系統利用優良 経済連表彰（太田）	11. 5	営農貸付金電算事務移行
6.27	共済優績 全共連表彰（木幡）	<b>50年</b>	
7. 8	共済優績 全共連表彰（太田）	1.24	貯金会計機導入
<b>37年</b>		6.22	総員外務推進日を毎月22日と設定
3.31	整備特別措置の目標達成（木幡）	6.30	太田高畑部落組合員が岩代町農協へ移籍
7. 6	共済優績 全共連表彰（東和）	7. 1	国庫金取扱開始、本所事務所新築落成
<b>39年</b>		12. 3	本所野菜集荷所新築落成
1.27	臨時総会（合併）（東和、木幡、太田）	<b>51年</b>	
6.12	共済優績 全共連表彰（太田）	3. 7	第1回募集海外研修旅行
<b>40年</b>		5. 1	本所2課1室制を4課制に機構改革
3. 1	東和町農業協同組合発足	11. 6	国民年金農協振込開始
5. 2	農協青壮年連盟発足	<b>52年</b>	
5. 2	婦人部協議会発足	6.25	全国連加入承認
5. 2	戸沢事業所開設記念組合員大会	8.11	第1回こどもの光大会
8.31	農協更生特別措置要綱による指定受ける	11.29	農協車両に無線機設置
<b>41年</b>		<b>53年</b>	
2.	本所事務所（旧針道支所内）増改築落成	4.10	太田事業所事務所、野菜集荷所新築落成
8. 1	自賠責共済事業開始	8.31	太田プロパンガス倉庫落成
<b>42年</b>		11.14	木幡農業倉庫新築落成
9.29	農機具SS東和駐在の設置	11.20	燃料センター（太田）移築落成



年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
<b>54年</b>		<b>62年</b>	
5.24	しいたけ貯蔵流通施設落成	1.12	東邦銀行C Dオンライン提携
11.19	合併15周年記念式典	1.26	第1回総代選挙
<b>55年</b>		2.16	九州ふれあい旅行実施(～21)
1.	木幡農産物集荷所新築落成	2.20	木幡給油所落成式
5.29	年金友の会設立総会	4.18	第1回通常総代会
6.	戸沢施設用地造成完成	5.17	太田給油所改増落成式
11.21	戸沢農産物集荷所・米穀倉庫新築落成	5.21	共済優績 全共連表彰
<b>56年</b>		<b>63年</b>	
2. 4	昭和55年12月発生豪雪災害救援要領設定	1.26	そさい振興大会
11.16	木幡事業所事務所新築落成	2. 7	伊豆方面ふれあい旅行(～9)
<b>57年</b>		3.	中国ふれあい旅行
4.14	健康増進活動開始(5か年計画)	4. 2	農業確立推進本部開所式
5.10	宿直廃止と警備保障委託	5.23	共済億友会岩手・秋田研修会(～24)
6. 5	福島東和町農業協同組合と名称変更 事業所を支所呼称変更	5.19	共済優績 全共連表彰
11. 6	J A祭でミス農協発表会(～7)	7.26	低温・長雨等異常気象対策本部設置
12.19	東和町ヤングパワーの集い	10.16	新加入組合員懇談会
<b>58年</b>		12. 7	四国ふれあい旅行(～10)
5.20	共済優績 全共連表彰	<b>元年</b>	
8.13	信用事業の週休2日制導入で第2土曜日 休業開始	3. 1	総合力強化後期3ケ年運動開始
8.22	針道支所事務所移転(旧本所へ)	3.23	たばこ廃作者野菜栽培講習会
8.22	信用事業オンラインスタート	5.18	共済優績 全共連表彰
9. 1	農業機械サービスセンターオープン	6.15	酪農事業取扱開始
11.15	つるむらさき面積拡大推進大会	6.23	第1回東和町民号参加(岩手東和町) (～24)
11.18	本所事務所新築落成 農協祭で婦人部芸能大会復活	8.	アメリカ農業事情視察研修(～9月)
12.15	協同クレジット(協同カード)取扱開始	11.22	町議会町政調査会・役員懇談会
<b>59年</b>		<b>2年</b>	
2.	県内農協貯金ネットサービス開始	1.	ハワイふれあい旅行
8.13	全国銀行内国為替制度に加盟	8.19	婦人部大正琴教室開設
9.	全国農協貯金ネットサービス開始	8.	農業後継者海外研修(アメリカ)(～9月)
11.12	現金自動貯金支払機(ATM・キャッシュ サービス)オープン	<b>3年</b>	
11.10	第1回東和町産業祭参加第14回農協祭 (～11)	1.14	集中配送センター落成式・業務開始
<b>60年</b>		2.25	戸沢支所事務所落成式・C Dコーナー オープン
3.10	合併20周年記念式典	3. 6	農家同一家族健康状態継続調査第1回特 別検査(竹の内区)(6・10の2日間)
3.20	第1回「ふるさとの味宅配便」発送	4. 7	業務営業拡大(ATM・燃料センター・ 配送センター・農機S Sの日祝日営業)
8.20	太田支所ATMオープン	5.11	4週6休制(第2・4土曜日)の実施
<b>61年</b>		5.21	木幡支所C Dコーナーオープン
2.13	総合力強化推進委員会	8.19	チビッコファンタジー実施(～21)
2.14	広報づくりビデオ撮影	9.	ミニライスセンター完成(戸沢支所)
3.31	水稻育苗センター竣工式	10. 1	資材課を太田支所に移設
8. 3	水稻いもち病航空防除開始	11. 1	食材宅配事業スタート
		12.15	農業後継者海外研修(ニュージーランド) (～22)

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
<b>4 年</b>		<b>5 年</b>	
1. 7	役場庁舎C Dコーナーオープン	1. 9	農業後継者海外研修(ニュージーランド) (～16)
2.10	コイン精米機オープン(戸沢支所)	2. 7	ふれあい九州旅行 (～12)
3. 1	21戦略第1期3か年計画開始	2.28	第6回J A 共済全国綱引大会に木幡弁天 クラブ出場
3.16	コイン精米機オープン(太田支所)	5.22	J Aとうわヘルプふれ愛グループ「ひま わり会」設立総会
4. 1	C I 活動開始	6.	異常気象対策本部設置
4. 1	愛称をJ A 福島東和町に変更	7.30	安達地方J A 合併研究会設立総会
4.29	J A 年金友の会員1000名達成記念大会	11.27	安達地方J A 合併役職員研修会
8.22	第1回J A 夏まつり(～23)	<b>6 年</b>	
9.24	ミニライスセンター完成(木幡支所)	1. 8	農業後継者海外研修(ヨーロッパ)(～16)
11.21	J A 役職員大会	2.21	伊勢ふれあい旅行 (～24)



特産野菜 つるむらさき



第1回J A 夏まつり (平成4年)



ひまわり会設立総会 (平成5年)



## IV 資 料

(平成5年度末現在)

### 1 組 合 員

( )は戸数

正組 合 員		准組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
1,686 (1,507)	1	256 (136)	32	1,942 (1,643)	33

### 2 役員及び参事

代表理事組合長	理事 紺 野 一 嘉
佐 藤 彦 憲	理事 菅 野 武 男
第一理事	理事 武 藤 巖
武 藤 司	理事 菅 野 甚一郎
理事 村 上 彦三郎	理事 嶋 原 武 男
理事 小 泉 集 人	
理事 本 多 要 一	代表監事
理事 引 地 仙 一	齋 藤 誠 吉
理事 武 藤 朗 夫	監事 加 藤 正 夫
理事 渡 辺 正 市	監事 佐 藤 一 男
理事 菅 野 好 市	参事 大 内 陽 一

### 3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
29	19	48	4	1

### 4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農青連	齋 藤 康 寿	15
婦人部	紺 野 雅 子	816

### 5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
蔬菜部会	高 槻 守	97
トマト部会	佐久間 菊 光	20
椎茸部会	佐 藤 文 夫	19
特産部会	大 槻 干 敏	34
肉牛肥育部会	加 藤 幸 雄	12
養豚部会	長 沢 良 一	3
花木部会	佐 藤 伊 定	6
いちぢく部会	齋 藤 誠 吉	31
果樹部会	熊 谷 一 夫	18
切花部会	氏 家 忠 司	6
産直部会	伊 藤 健 朗	27

### 6 主な施設

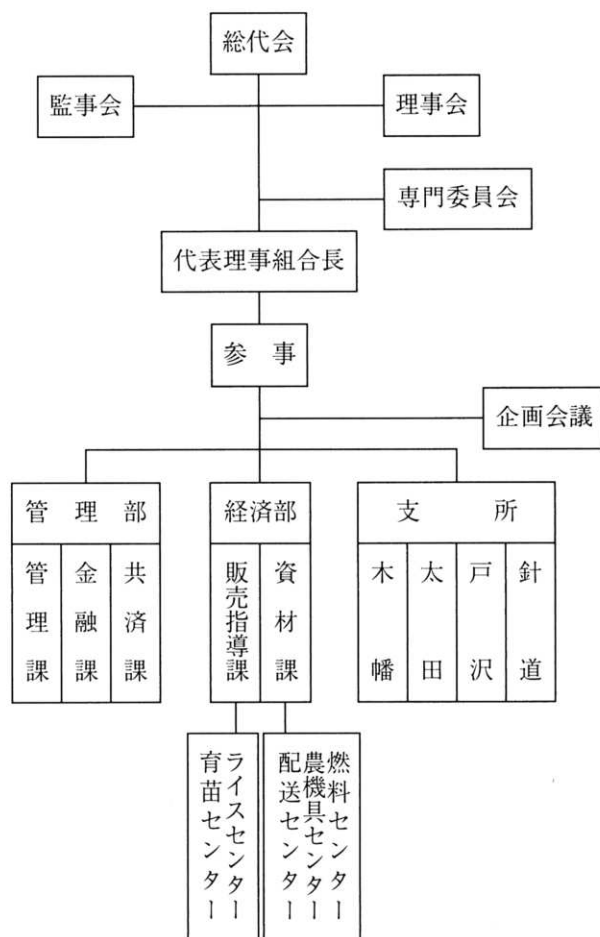
名 称	所 在 地
本 所	針道字町50
針道支所	〃 〃
木幡 〃	木幡字松木下3-1
太田 〃	太田字若宮55-1
戸沢 〃	戸沢字下田312
集中配送センター	太田字若宮50-1
購買倉庫	針道字町66
野菜集荷所	〃 〃 50
〃	太田字若宮55-1
農産物集荷所(木幡)	
(ミニライスセンター)	木幡字松木下2-1
大豆麦集出荷所(戸沢)	
(ミニライスセンター)	戸沢字下田310
農業倉庫①	太田字楽内11-1
〃 ②	木幡字松木下32-1
〃 ③	戸沢字下田310
水稻育苗センター	針道字櫓町35-1
しいたけ乾燥室作業所	〃 字戸の内41
ガソリンスタンド(木幡)	木幡字久木平15-5
燃料センター(太田)	太田字若宮58
農業機械サービスセンター	針道字戸の内41
キャッシュサービス	
コーナー(針道支所)	〃 字町50
〃 (太田支所)	太田字若宮55-1
〃 (戸沢支所)	戸沢字下田312
〃 (木幡支所)	木幡字松木下3-1
〃 (役場内共同)	針道字蔵下22

## 7 歴代組合長・常勤理事・参事

組 合 長			
40～53	紺野 守嘉	56～2	丹治 武正
53～56	菅野 源一	2～	佐藤 彦憲

常 務 理 事		参 事	
40～44	菅野清一郎	40～48	鳴原 卓二
40～41	大槻 義孝	48～62	佐藤 彦憲
		62～	大内 陽一

## 8 経営管理機構



## 9 合併前の歴代組合長

## 東和村戸沢農協

23～26	佐藤 耕三	27～34	紺野 濃
26～27	佐久間藤四郎		

## 東和農協

34～40	小野崎寛蔵
-------	-------

## 太田農協

23～39	渡辺 美善	39～40	菅野清一郎
-------	-------	-------	-------

## 東和村針道農協

23～26	菅野 民造	29～30	服部金次郎
26～27	遠藤 五郎	30～33	浅野 亀蔵
27～29	斎藤 芳房	33～34	小野崎寛蔵

## 木幡農協

23～32	武藤彌一郎	32～40	紺野 守嘉
-------	-------	-------	-------